

聖霊降臨節第19週 主日礼拝

2019年10月13日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『マタイの福音書』7章21-25節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌27「来る朝ごとに」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	.....	司会者	
感謝の賛美	新聖歌211「天なる喜び」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』9章46-50節(新約131頁)	司会者	
黙想	.....	—	同
説教	「わたしの名のゆえに」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌404「弟子となしたまえ」(b1)	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	.....	山岸あけみ姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	.....	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)  
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	司会説教：近伸之牧師	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：片山勝三兄 会：小林姉・小山姉 (他、有志)	映像・音響：有志 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：佐藤繁実兄 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

- 「子ども」と訳されたギリシャ語「パイディア」は、「躰、訓練を必要とする者」が転じて「子ども」の意味になった。「奴隷」「部下」とも訳されることがある。「わたしの名のゆえに受け入れる」とは、自分を基準として他人を上下にさばくのではなく、自分もまたキリストの前では訓練を必要とする一人にすぎないと自覚し、接すること。
- 「このような子どもを受け入れる者はわたしを受け入れる」「わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れる」。この繋がりは、イエスが自分を父の権威に服する子どもとして完全にみこころに従われたということ(ヨハ5:19、ピリ2:6-8)。十字架に至る完全な服従が、信じる者たちに転嫁されて義と認められた。
- 「御名のゆえに受け入れる」をヨハネは誤解し、御名を用いる者たちをやめさせた。御名には確かに力があり、信仰にかかわらずそれが発揮されることもある(マタ7:21-23)。しかし「やめさせることはない」と主は言われた。愛をもって御名を用いるならば人は生きる。自己義認をもって御名を束縛するならば、愛は死ぬ。

今週の暗唱聖句

「私は主の名を呼ぶ。そのとき、火をもって答える神、その方が神である」(『列王記 第一』18章24節)

個人、団体からの来信

2019年10月13日

平和祈禱会のご案内[10月22日(火)午後1:00より新潟福音教会において]／  
北新潟キリスト教会より、秋の文化展覧会バザーについて案内／  
新潟福音放送協力会の下越地区定期総会のお知らせ[10月28日(月)午後7時より亀田にて]

先週の集会出席者数

10/6(日)	教会学校	幼児男子2 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計2 成人男性1 幼児女子1 小学女子4 中学女子- 高校女子- 女児計5 成人女性1
	第一礼拝	男2 女3 10/7(月) 書道教室 男2 女6(求1、心和さんも参加)
	聖餐礼拝(子ども)	男13 女18 10/7(月) 月曜家庭集会 男2 女4 男児2 女児5 10/9(水) 分かち合い祈禱会 男2 女6
	夕拝	男2 女1 10/11(金) しゃべり場タビタ 男- 女4 10/11(金) 金曜祈禱会 男- 女3

諸集会のご案内

	※月に一回書道教室を開催		
月曜家庭集会	(休会)		
救禱会	10/16(水)午後7:30	教会堂	司会：小山千春姉
しゃべり場タビタ	10/18(金)午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊智子姉
バザー準備	10/18(金)午後7:00	教会堂	金曜祈禱会は合流します

10/20(日) 聖霊降臨節第20週			
	第一礼拝と教会学校は特別礼拝に合流します		
午前9:45	奉仕者の祈り会		
特別礼拝 午前10:00	司会：山崎敬典兄 集会：小山千春姉 (笹川清子姉)	映像・賛美：賛美チーム他 説教の録音：片山勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：横堀信子姉 ※掃除当番は下表参照
バザー準備 午前11:00			
教会学校奉仕	9/29[佐藤兄] 10/6[片山姉] 10/13[近牧師] 10/20[礼拝に合流] 10/27[佐藤兄]		
掃除当番順	9/29[横堀姉] 10/6[渡邊姉] 10/13[猪爪姉] 10/20[片山姉] 10/27[小林姉]		
バザー 正午～14:30			
10/13	[夕拝]『コリント人への手紙 第一』		
10/20	[特別礼拝]『イザヤ書』45章22～25節 ※第一および夕拝は休会します		

報告

- 礼拝の恵み  
主日礼拝の恵みを感謝します。いただいた恵みを心に刻み、新たな一週間を歩みましょう。
- 台風からの守りのため  
先週末より台風19号が日本を縦断しています。各自がさまざまな被害から守られますよう注意し、祈りつつ過ごしましょう。
-

あるところに、奥さんとお子さんはクリスチャンなのですが、ご主人はなかなかのお酒飲みで、そのためにトラブルが絶えないというご家庭がありました。

ある日、奥さんとお子さんが教会に出かけていく時、ご主人に言いました。「きょうは、お父さんのお酒がやめられるように、牧師先生から特別に祈ってもらってきますからね」と。「ああ、どうぞ自由に。いくら祈っても無駄だよ」と答えて、いつものように、ひとりでチビリチビリと始めたのです。

ところがどうしたわけか、いつものお酒の味ではない。なにか水でも飲んでるようにおいしくない。こんなはずはないとばかりに、ガブガブ飲んでみるのですが、どうにもまぎらないです。「あれ、もしかしたら」と奥さんの出がけの言葉を思い出し、教会に電話をしてみました。「先生、今晚は私のために特別なお祈りでもしたんですか。いったいなんと言ってお祈りしたんですか」と聞いてみました。

すると牧師さんは「水をぶどう酒に変えられた主よ。あの人の好きな酒を水に変えてください、と祈ったのですよ」と答えたのです。「どおりで」と納得したご主人は、「神さまにはかなわない」とばかりに降参して信じるようになり、それからこのご家庭は、すばらしいクリスチャンホームになったということでした。

聖書に、ガリラヤのカナという所で行われた婚礼の席で、イエスさまが水をぶどう酒に変えられたという奇蹟が記されています。ある人々にとっては、どうしてこんなことが信じられるのだろうと、バカバカしく思われるかもしれませんが。しかし、万物を創造し、支配される神さまにとっては、こんなことはたやすいことなのです。

考えてみますと、ひとつひとつのぶどうの種の中に、どうしてあんなにおいしいジュースを作ることのできる実を結ぶのかというほうが、実はもっと不思議というべきではないでしょうか。オレンジにはオレンジ用の水、パイナップルにはパイナップル用の水、そして、ぶどうにはぶどう用の水などと区別してやっているわけではなく、それぞれの木は地下の泥水を吸い上げているわけです。その泥水を、いつ、誰が、あんなにすばらしいジュースに変えたのでしょうか。水がぶどう酒に変わったことを奇蹟というならば、泥水がジュースに変わるのも奇蹟というべきでありましょう。

奇蹟といえば、人の心が変わえられることほどに大きな奇蹟はないはずですが。水をぶどう酒に変えられた主こそは、私たちの生涯をも変えることのできる唯一のお方なのです。

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。」  
 (『コリント人への手紙 第二』5章17節)



収穫期の最も早い稲を早稲(わせ)と呼ぶのに対し、収穫期の最も遅い稲は晩稲(おくて)と呼ばれる。日が短くなり始めてからの収穫であり、晩稲刈りの時期は追われるようで慌ただしい。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中  
 ☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



10/19(土)ライフ・ラインのつどい in 福島  
 「あなたこそわが望み」メッセージ:塚田 献牧師

この7月に福島県会津若松市で「ライフ・ラインのつどい」を行いました。つどいでは、賛美グループ・LYRE(リラ)がオリジナルの賛美を歌い、LYRE(リラ)のメンバーのひとり、塚田献牧師が「あなたこそわが望み」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。番組では、そんな「つどい」の様子を紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata  
 BEGiN. ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会(牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155

ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>

電子メール: [info@toyosakakyokai.net](mailto:info@toyosakakyokai.net)

ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>

